

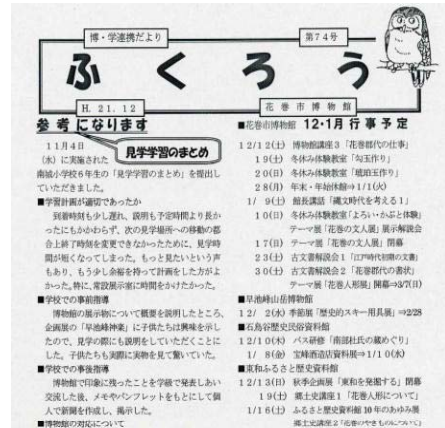
花巻市博物館

博物館からの充実した情報発信

～博・学連携だより「ふくろう」の発行をとおして～

【博・学連携だより「ふくろう」】

花巻市博物館では、「博・学連携だより『ふくろう』」を、博物館の開館前の平成15年7月から発行し始めており、現在では毎月1回発行（A4両面）し花巻市内小中学校全教職員に配布している。「ふくろう」は、花巻市のシンボルにもなっている鳥であり、この「ふくろう」が博物館と学校を自由に行き来し、情報を交換しあい充実した連携を図るという意味をこめて発行している。さらに、花巻市博物館・学校教育連携研究委員会が組織され、博物館と学校の望ましい連携の在り方、地域に根ざした博物館の運営の在り方に関する調査・研究を行っているが、その連携の実践事例等についても「ふくろう」をとおして随時紹介している。



【学校との連携の実際】

花巻市博物館では、「博物館」を花巻市民の生涯学習にふさわしい豊かな学習の場と位置づけている。また、博物館では、「博物館が有している様々な教育機能を学校教育の中で活用することにより、学習に対する子どもたちの興味・関心が高まり、より充実した教育が可能になる。」と考えている。そして、そのためには「博物館と学校が共に歩み寄って、それぞれの特性や良さ、機能などを出し合い、子どもたちの教育の充実や豊かな成長にとってより良い関わり方を作り出していくことが大切である」と捉え、学校との連携を積極的に推進している。連携の基本方針については、次の2点が掲げられている。①「花巻市博物館が持っている様々な教育機能が、日常の学校教育活動において十分に活用され、学習成果の向上につながるように、絶えず学校及び他の教育機関と連携を図りながら推進する。」②「児童生徒の学習の充実の有効な教育施設として、学校が必要とする情報の収集・提供並びに新しいプログラムの開発に努める。」（出典：平成20年度花巻市博物館年報）

花巻市博物館では、連携について次の事業を実施している。

①小・中学生向けの「博物館学習ガイド」の作成

博物館の内容やどんな学習に役立てることができるのかなどをまとめた「博物館学習ガイド」を作成し、小・中学生に配布することにより積極的に博物館を活用し、学習成果を高めている。

②博物館活用事例集の作成

学校教育の様々な教科・領域で、博物館を活用してどのような学習を展開できるかの事例を提示し、学校利用の促進を図っている。

③博物館主催事業計画の情報提供

博物館が計画している企画展や体験学習・講座等の日時や内容を早期に情報提供することにより、児童生徒の興味・関心を喚起し、博物館を学習の場として活用できるよう支援している。

④教科学習内容と常設展示内容対応表の作成

小・中学生の教科学習内容に関連して、博物館の常設展示資料や収蔵資料の中で対応できる内容を系統的にまとめて提示し、教科学習の充実を図る一助にしている。

⑤博物館収蔵資料並びに学校貸出し資料一覧表の作成

博物館が収蔵する資料や学校貸出し資料一覧表を作成配布することにより、見学や学校教育の一層の充実を図っている。

⑥博物館学芸員の出前授業・出前体験学習

学校側の要請により、博物館の学芸員が学校に赴き、依頼された内容に応じて授業や教師とＴＴを組んで授業を展開したり出前体験学習を実施している。

⑦博学連携推進研修会

市内小中学校の先生方を対象に、博物館等の施設と学校がどのように連携していけばよいかについて研修を深める。夏季休業中の８月に開催。

【成果と課題】

○博・学連携だより「ふくろう」をとおして、博物館の情報提供及び博物館の持つ教育機能を積極的に紹介し、学校との連携の推進を図っている。

○平成１２年度に設置された博物館・学校教育連携研究委員会では、博物館と学校との連携について計画的に調査・研究を行い、多くの成果をあげている。

○平成１８年１月１日にスタートした新花巻市には、花巻市博物館、早池峰山岳博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、東和のふるさと歴史資料館等、それぞれに特色のある施設がある。今後はこうした施設も含めた博学連携の推進が大切である。

《施設データ》

館 名 ： 花巻市博物館

所在地 ： 〒025-0014

岩手県花巻市高松２６－８－１

電 話 ： (0198) 32-1030

FAX ： (0198) 32-1050

設置年 ： 平成１６年

設置主体 ： 花巻市教育委員会

ホームページ ： <http://museum.city.hanamaki.iwate.jp/>

入館者数：平成20年度 19,317人

